

YMS 2019年度 解答速報

昭和大学医学部 I 期



【英語（解答）】

1/25 作成

1

(1)E (2)B (3)A (4)A (5)A

2

(1)B (2)A (3)C (4)B (5)E (6)C (7)B (8)D (9)C (10)C

- (1) help to V...「V...するのを助ける」は、toを省略できる。
(2) accept は自明の目的語を省略できる。
(6) 勢いで look forward to を選ばないように。
(10) 指示代名詞の問題は、大問6の小問3.と重複する。

3

- (1)ク (2)ア (ウオカクアイエキ)
- (3)オ (4)イ (ウオカアキイエ)
- (5)イ (6)ア (イオウカキアエ)
- (7)キ (8)エ (ウオキイクアカエ)
- (9)ウ (10)オ (エウクカイキアオ)

4

- (2)sold[sells]
- (3)every three months
- (1)at a loss
- (1)had worked
- (4)should have left

5

[対話 1] (あ)B. (い)C. (う)A.
[対話 2] (え)A. (お)E

★(う)は、直前の文を読むと「S が送られる」という自動詞用法とも考えられるため、C.が過去形なら正答となる。

6

- (ア)C. (イ)D. (ウ)B. (エ)E. (オ)A.
- 日本の厚生労働省が、2006 年に麻疹と風疹のワクチンを組み合わせて二回接種を行う接種拡大政策を始めたが、それ以前の世代に対しては何ら救済措置を講じなかったこと。
(77 文字)
[別解]
1977 年から 1990 年に生まれた世代の人々が麻疹の予防接種を一回しか受けておらず、厚生労働省は現在に至るまで本来必要な二回接種のための対策を講じていないこと。
(74 文字)
- inoculation rates ★vaccines の可能性もあるが、increase の目的語は、the stock of vaccines であるため、improve の目的語である inoculation rates を指すと考える。
- C.
- A./G./I.

【講評】

大問数が増加し、記述式空欄補充問題が姿を消し、I 期では共に 2013 年以來となる整序英作文、誤謬指摘問題が出題された。2014 I 期入試では、長文中の整序英作文が出題されており、2015 II 期では通常の整序英作文問題の出題がある。英語単独で考えた場合合格ラインは若干下がると思われる。